

市民と行政のタッグの組み方 上田リバーズ会議から生まれた 脱炭素・交通まちづくり

20260314

人と環境にやさしい交通をめざす全国大会in広島

NPO法人上田市民エネルギー
藤川 まゆみ

NPO法人上田市民エネルギー 理事長 藤川まゆみ

広島県福山市生まれ
2005年から長野県上田在住
2012年から現職
ゼロカーボンとまちづくりが仕事に



長野県上田市 人口15万人

第11回
人と環境にやさしい交通を目指す
全国大会in上田では
たいへんお世話になりました。

上田市民エネルギーがなぜ交通まちづくり？

2011年 東日本大震災
→市民も電気をつくろう！
市民発電所相乗りくん



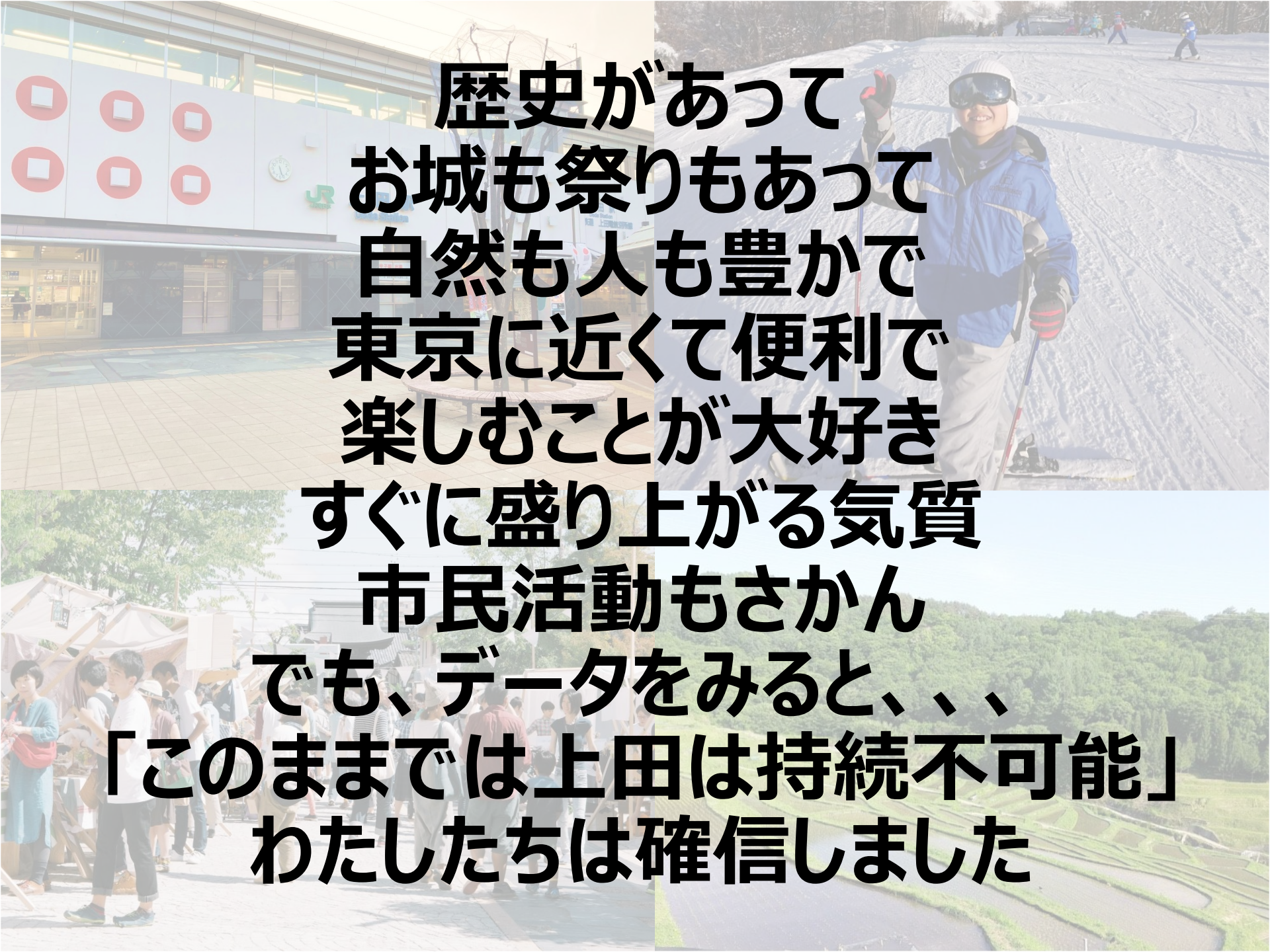
↓
2018年 猛暑
→気候変動ヤバい
教室断熱ワークショップ



↓
2021年 上田市総合計画策定時
→そもそも上田って持続可能？
上田リバーズ会議



「脱炭素もまちづくりも交通がカギ」



**歴史があって
お城も祭りもあって
自然も人も豊かで
東京に近くて便利で
楽しむことが大好き
すぐに盛り上がる気質**

**市民活動もさかん
でも、データをみると、、、
「このままでは上田は持続不可能」
わたしたちは確信しました**

人口増加時代のままの政策が続く上田を
Reverse逆転させて、**Rebirth**再生させよう！

<上田リバーブ会議>

市民が企画する

立場の垣根を超えた学びと対話の会

市民、行政職員、議員、企業、金融機関、大学生、高校生

上田リバーズ

上田の大危機を
乗り越えるための
5つのヒント



このままでは上田は
持続不可能

データで目線合わせ
議論はそれからだ



2022年 冊子「上田リバーズ」発行

上田市職員も毎回参加



持続可能なまちづくりの土台となるテーマを選び、 2021～2025年に36回開催 4000人近くが参加



試行錯誤しながら
上田リバーズ会議を続けるうちに
行政と市民の共感が高まって
タッグを組む機会が増えてきました。
最初は「交通まちづくり」でした。

第3回上田リバーズ会議

2021/11/19

「交通まちづくりでリバーズ！」

講師：宇都宮浄人さん
(関西大学)



交通が先か、まちづくりが先か
鶏と卵の関係
まずは卵をたくさん産んでくれる
鶏を育てよう

帰り際、担当者の目が光った ✨

「藤川さん、これですね！
これは市長含め職員全員で聞くべき話でした。
庁内講演会を企画します！！」

上田市2021年12月議会一般質問 「交通まちづくり」に前向きな部長・市長の答弁

「**公共交通を生かしたまちづくり**を進めることが、スマートシティとゼロカーボンシティを具現化する重要な施策であるという考えのもと、**官民連携により取組を強化してまいります**」



市長選の争点に

信濃毎日新聞20220305

〈上田 あすへの視線 市長選、20日告示⑤〉 公共交通施策 手詰まり感

「路線バスは以前から全て赤字。新型コロナウイルスの影響が続けば新たな廃止もやむを得ない」。千曲バス（佐久市）取締役の白鳥明さん（54）の口調は厳しい。同社は上田市の5路線を含め、青木村、佐久地方で路線バスを運行する。昨秋には、72年続いた佐久上田線の廃止に踏み切った。

本年度の売り上げは新型コロナの影響が少なかった2019年度比で路線バスが3割減、高速バスが7割減、貸し切りバスが9割減を見込む。新型コロナ対策を取っても「バスは感染しやすいとの先入観が払拭(ふっしょく)できない」と嘆く。高速、貸し切りが低迷し、路線バスの赤字を以前のように補填(ほてん)できない状況が続く。

■新型コロナで乗客減→減便 どう歯止め

公共交通を取り巻く状況は新型コロナで一変した。市は16年度に地域公共交通網形成計画を策定、バスと上田電鉄別所線の中期目標を掲げたが、20年度に乗客が激減した。16年度と比べると、路線を中心としたバス乗客数が38%減の80万9千人。別所線は台風19号の影響もあり、51%減の63万7千人だった。

バス路線は16年度の21から17に減少。1便当たりの乗客数は11路線で10人を切り、2路線は1人に満たなかった。鉄道でも、別所線が昨年から土曜休日を減便、しなの鉄道は同様に12日の新ダイヤから減らす方針だ。乗客減少が利便性の低下を招き、利便性低下が客足を遠のかせる一。市の公共交通は「負の連鎖」に陥りつつある。

市が13年度から続ける重点施策「運賃低減バス」は定着した分、当初のお得感が薄れてきている。路線バスと別所線で本年度、本格的に始めたキャッシュレス決済の利用率は別所線が3~4%、バスは10~20%にとどまる。

「バスや鉄道の確保、維持だけでなく、むしろ増便する実証実験など思い切った手が必要かもしれない」（市交通政策課）。市の政策には手詰まり感が漂う。

市議会3月定例会で環境建設委員会は、公共交通の専門的知見を持つ「アドバイザーの登用」など6項目を市に提言。来年度策定する市の地域公共交通計画で解決に向けた「明確な方針」を求めた。

◇

「別所線を生かす方法は」「マイカーから公共交通への乗り換えをどう進めたか」

2月上旬、市民ら約120人がオンライン講演会を視聴し、熱心に質問していた。講演者は前富山市長の森雅志さん。公共交通を軸に人口減少に対応するコンパクトなまちづくりを通算5期かけて進めた。上田市にとっても参考になるモデルの一つだ。

都市機能や人口を集約するため、複数の指定エリアに移住するよう促す仕組みを構築した。移住者への最大50万円の補助、中心部での路面電車の運行といった取り組みだ。エリア間のバスを増やすなど、公共交通の利便性の面でエリア外と差も付けた。上田市で同様に進めるとすれば、コンパクトなまちづくりの「市立地適正化計画」と連動した公共交通計画が必要になる。

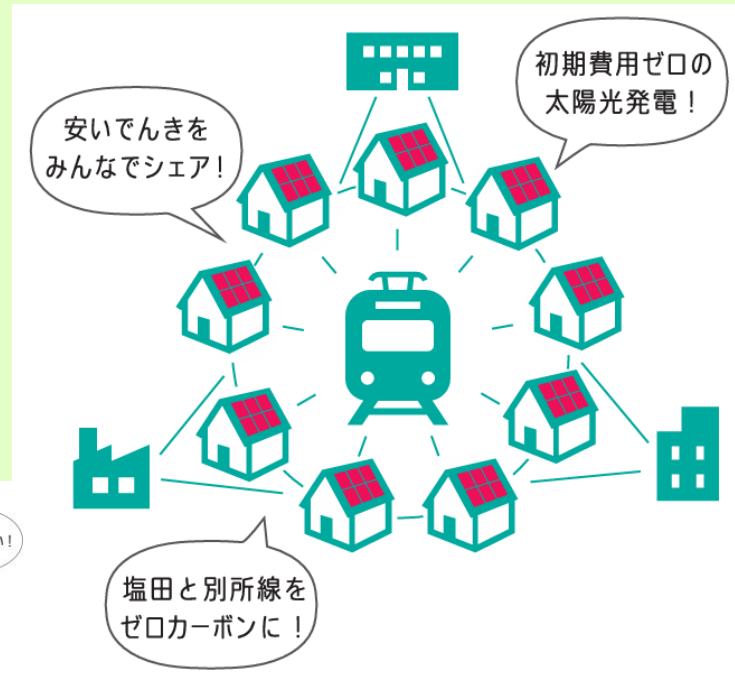
森さんは「不公平な公金の使い方」に住民の理解を得る必要があったと指摘。その上で、自身のビジョンに基づいて「積極的な公共交通への投資」と「利用しなくなる仕掛けづくり」を一貫して進めたと説明した。

講演会には有志でつくる上田ビジョン研究会が主催。発起人の藤川まゆみさん（58）は「上田には上田に合った方法があるはず。どんなまちを目指すのか、新たな計画に注目したい」と期待する。

市民5千人を対象にした市の19年のアンケート（回収率38・3%）で、暮らす上で不安に感じるのは「車の運転ができなくなり、移動手段が確保できなくなること」が46・9%で最多だった。市民の思いに応えるビジョンを示せるか、市の将来像は新市長にかかると。

環境省脱炭素先行地域につながった！ ～ローカル鉄道と市民が共に支え合う ゼロカーボン×交通まちづくり～

別所線×沿線×太陽光×利用促進



別所線でモビリティマネジメントMMを実施

2024・2025 上田電鉄・上田市交通政策課・上田市環境政策課と協働

脱炭素先行地域エリアでMMアンケート 筑波大学谷口研究室との共同事業 (動機づけ情報を作るトレーニング)



**別所線と太陽エネルギーと
塩田ぐらしと**

アンケートへのご協力ありがとうございます。
この冊子は、アンケートのFからJまでの質問とセットになっています。
1ページずつ読み進めながらご回答ください。

第3章

クルマと別所線

移動時間は自由時間

クルマではできなくて 別所線ではできること

クルマでの移動は運転に集中する必要があります。
いっぽう、鉄道やバスの移動中はできることがたくさん。

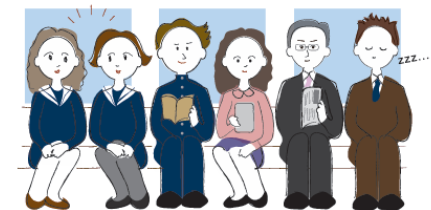
- ・スマホで動画をみる
- ・本を読む
- ・新聞を読む
- ・イヤホンで英会話
- ・仕事や宿題
- ・うたた寝
- ・おしゃべり
- ・風景をぼんやり眺める

通勤で、別所線に片道20分乗る方の場合

片道20分 × 2(往復) × 260日(平均勤務日) = 173時間/年!

こんなにも自由時間を確保できます。

▶ 年間 173 時間、使わないともったいない!



このページを読んだら、アンケート **H1** に答えてください。

第3章

クルマと別所線

そうこうしていたら
2025年3月別所線が平日増便
1日56便→78便 (上田電鉄の英断!)



平日増便で
乗客 **6.1%** 増!
THANK YOU!
※2025年5月の輸送人員の対前年比

(前年比)

増便ありがとう！手を振るイベント

別所線エコチケ試験導入 2025.12

2日間で1000枚完売！
アンケートとデータで
効果分析中

このプロジェクトは、国土交通省モビリティ人材育成事業のフィールドスタディとして、上田電鉄株式会社との協力を得て、NPO法人上田市民エネルギーが実施する事業です。格安チケットの試験導入によって別所線利用者を増やす研究を目的としています。

販売期間
12/1月 ▶▶ 22月 **3週間限定!**

**別所線
エコチケ**
ecology & economy

**別所線
5,500円分が
80%超OFF!
1,000円で
乗れるってよ!**

今年3月からの平日増便で乗る人が確実に増えている別所線。この勢いを応援するチャンスは今！超お得なチケットを限定販売します。別所線に乗る人が増えたら、どんな未来が見える？みなさんもぜひご参加ください！

先着1000名 利用可能期間：使い切るまで制限なし

購入条件 事前・事後アンケートに回答できる中学生以上の方、1人1枚まで

購入はこちらのアンケートフォームから

1/19 (月) 前後にメールもしくは郵送にて事後アンケートを送付します。ご協力をお願いします。(有効は到着まで有効となります)



- ・普段あまり乗っていない人が購入
- ・購入後、外出頻度が増加した効果
- ・割引終了後も継続して利用が定着する可能性

脱マイカー依存で
CO2 ↓

脱炭素

マイカーより
家計にやさしい

個人

送迎の負担 ↓

子どもの
社会性

免許返納 ↑

高齢者のQOL
↑

よく歩き健康
増進 ↑

公共交通は
一石八鳥

地域・社会

居住誘導のカギ

渋滞緩和

大気汚染 ↓

交通事故 ↓

まちなか活性化

地価 ↑、 税金 ↑

医療費削減

脱マイカー依存で
CO2 ↓ **環境課**

脱炭素

渋滞緩和

環境課

大気汚染 ↓

交通事故 ↓

交通課

まちなか活性化

都市計画課
商工課

居住誘導のカギ

財政課

地価 ↑

税込

↑

交通課

マイカーより
家計にやさしい

**公共交通は
一石八鳥
多数の政策と
関連**

地域・社会

送迎の負担

教育委員会

子どもの
社会性

子育て課

免許返納 ↑

福祉課

高齢者のQOL

↑

よく歩き健康
増進 ↑

健康推進課

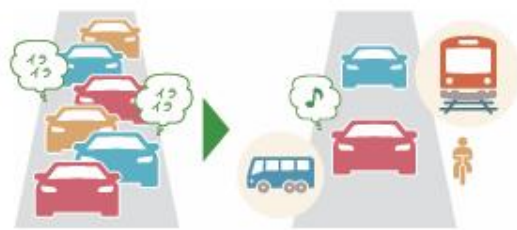
医療費削減

4 渋滞が減る

ニューヨークで、ラッシュ時に市内に入る車から通行料を徴収したら、多くの人が公共交通利用や車の相乗りへ行動を変えたそうです。その結果、渋滞が減り、運転の所要時間が48%も減りました。

上田市では、これと逆の出来事が2019年に行われました。台風19号で別所線の赤い橋が落ちて復旧するまで、別所線通勤からマイカー通勤に切り替えた人が多かったため、実行している青木と上田間の国道が大渋滞してしまっていました。実は、公共交通がなくなると渋滞がひどくなることを、この時私たちは体験していたのです。公共交通があることが、道路の渋滞を緩和しているのです。

道路渋滞が少なくなる！



みんなが自家用車を使うと道路は渋滞気味に……

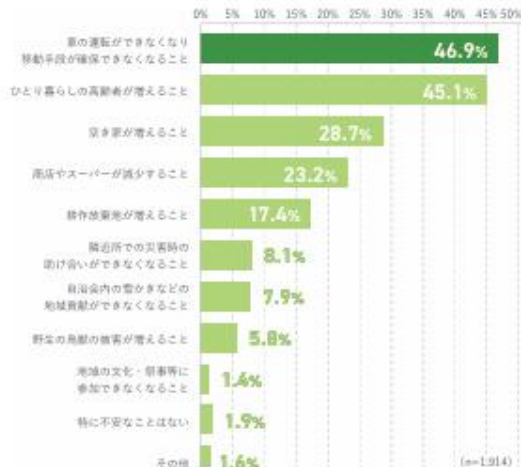
自家用車の代わりに鉄道やバスなどの公共交通を利用すると、渋滞は解消。どの移動手段でも安全に目的地に到着！

出典：「上田市都市計画マスタープラン 2024年版」

5 移動の自由・移動の選択肢が増える

2019年10月の上田市住民アンケートの結果から上田市民の最大の不安は「(将来的に)移動手段が確保できなくなること」でした。もし別所線がなくなったら？ 高齢者の免許更新は免許返納は進みにくくなり、交通事故のリスクが高まります。退勤した場合、外出が難しくなり、日常生活に支障が出たり、運動量が減って健康を損なったりする方が増えるかもしれません。高校生の通学には家族の送迎が必要となったり、進路選択や部活動の選択に影響が出たり、家族の食糧が増える可能性もあります。

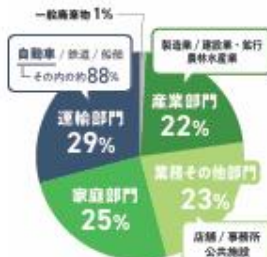
今は使っていないけど、高齢になり運転できなくなった時、子どもが育って高校生になった時、またはいよいよ時の移動の自由と選択肢が保障されていることが、塩田の暮らしの安心感を支えています。別所線は地域住民の移動の選択肢であり、移動の自由を守っているのです。



6 別所線は地球を守る！ 温暖化との関係

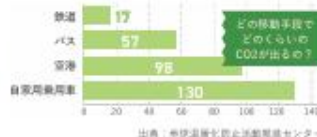
2024年は地球全体でも日本でも史上最高気温を記録した年になりました。長野県に住んでいても気候変動を身近に感じた人は多かったのではないのでしょうか？ 気候変動の最大の原因は人間の活動によるCO2の排出で、上田市では自家用車も含む運輸部門が最大の排出源です。交通機関の中では、鉄道が最もCO2を出しません。身近なエコ活動の中でも効果が高いのは、車の運転を減らすことです。3月に1回は別所線を使ったり、飲み会の日には別所線で使ったりする人が増えると、大きな効果につながります。

上田市の部門別 CO2 排出量 (2021年)



*自家用車の排出量は運輸部門に含まれます。
上田市の部門別 CO2 排出量 (出典：環境省自派隊レポート)

交通手段別 CO2 排出量



エコ活動別の1年間のCO2削減量



7 まちなか活性化

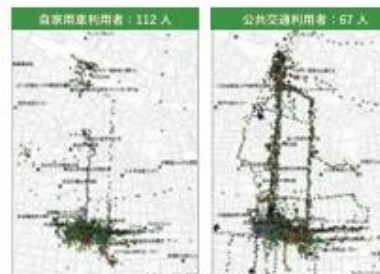
まちの中心だけが賑やかになっても、郊外や農村部の人たちは関係ないと思われるかもしれません。でも実はまちなかの活性化は行政サービスの向上や地域の課題解決のための原資になります。

たとえば、まちなかが活性化して地価が上がると自治体の固定資産税収入が上がります。それを使って郊外や農村にも充実した自治体全体の行政サービスを充実させることができるのです。

それにはまちなかを多くの人を呼び寄せる必要があります。歩み寄る人が多いまちは売上が向上します。徒歩がセットになる公共交通の利用増加が、まちなかの活性化のカギを握るのです。

富山市の調査結果では、公共交通でまちなかに来る人の方が自転車や徒歩よりも多く歩いているのが一目でわかります。自家用車での移動は目的地のみにピンポイントで行くため、まちを多く歩くことにつながりにくいのです。

中心市街地の圏道状況



凡例 ● 9:00-11:59 ● 12:00-14:59 ● 15:00-17:59 ● 18:00-23:59
※調査両年度(2021年)のみで、2022年度は取得したデータがないため(2021年)で調査した時刻
出典：富山市「高齢社会における交通と健康で暮らす」報告書

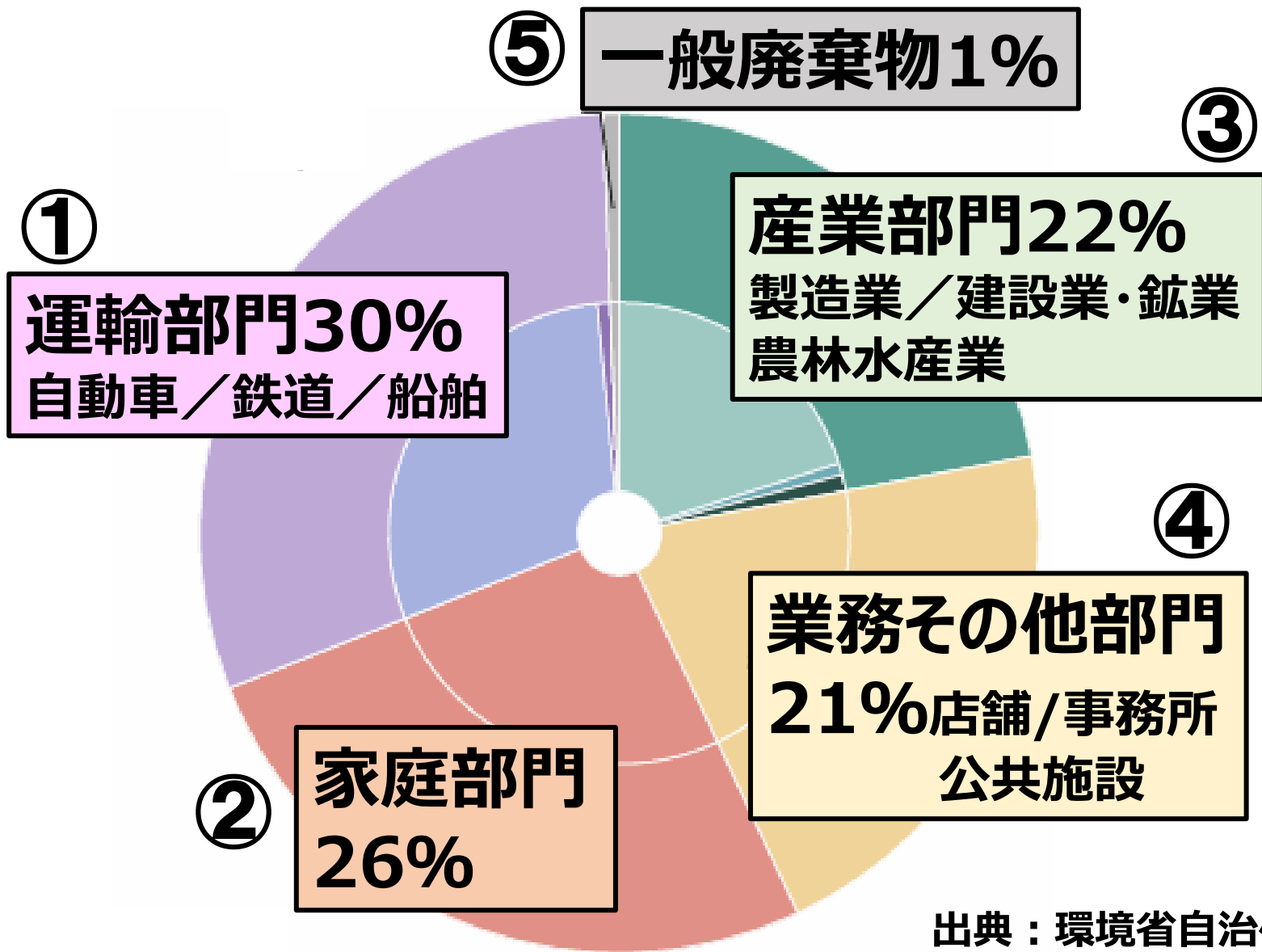
8 別所線での移動は自由時間

車での移動は運転に集中する必要がある「ながら」はご法度。別所線での移動中は「本を読む」「イヤホンで英会話学習」「スマホでメール返信やSNS「おしゃべり」「風景をぼんやり眺める」「資格試験の勉強」と、いろいろなことができます。もちろんうたた寝したり、のんびり過ごすのもいいですね。

通勤・通学で別所線に片道20分乗る場合、年間173時間の自由時間が生まれます。たとえば、英検2級の合格に必要な勉強時間は、一般的には150~400時間と書われています。別所線に乗っている時間だけで、1年後には英検2級に合格できるかもしれませんね。



上田市の部門別CO2排出量（2022）



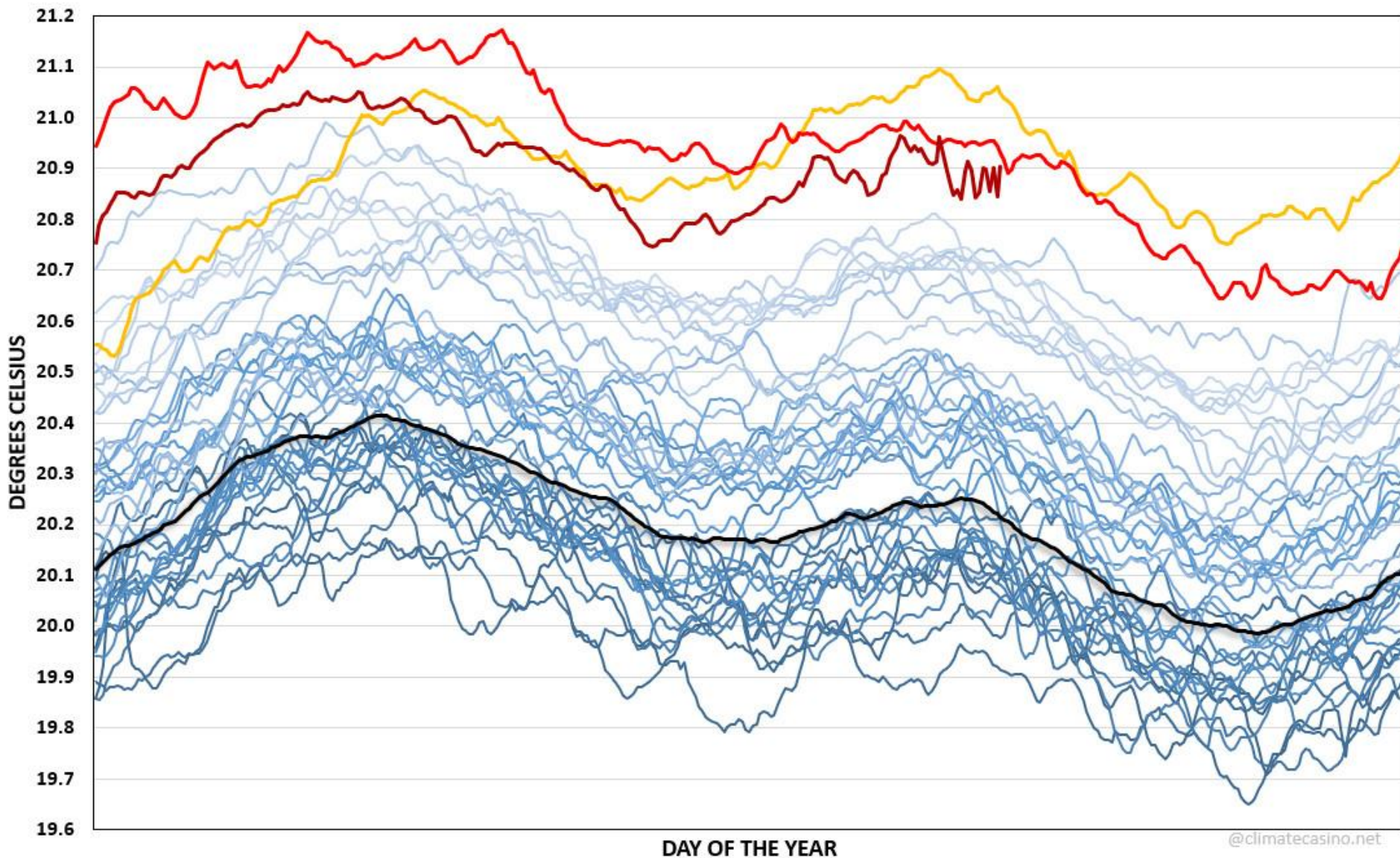
出典：環境省自治体カルテ

1982年～2025年の海水面温度の推移

Global Sea-Surface Temperatures (60°S-60°N): 1982-2025

Data: https://climateresearcher.org/clim/sst_daily/json/oisst2.1_world2_sst_day.json

— 1982-2011 mean — 2023 — 2024 — 2025 through Sept. 11

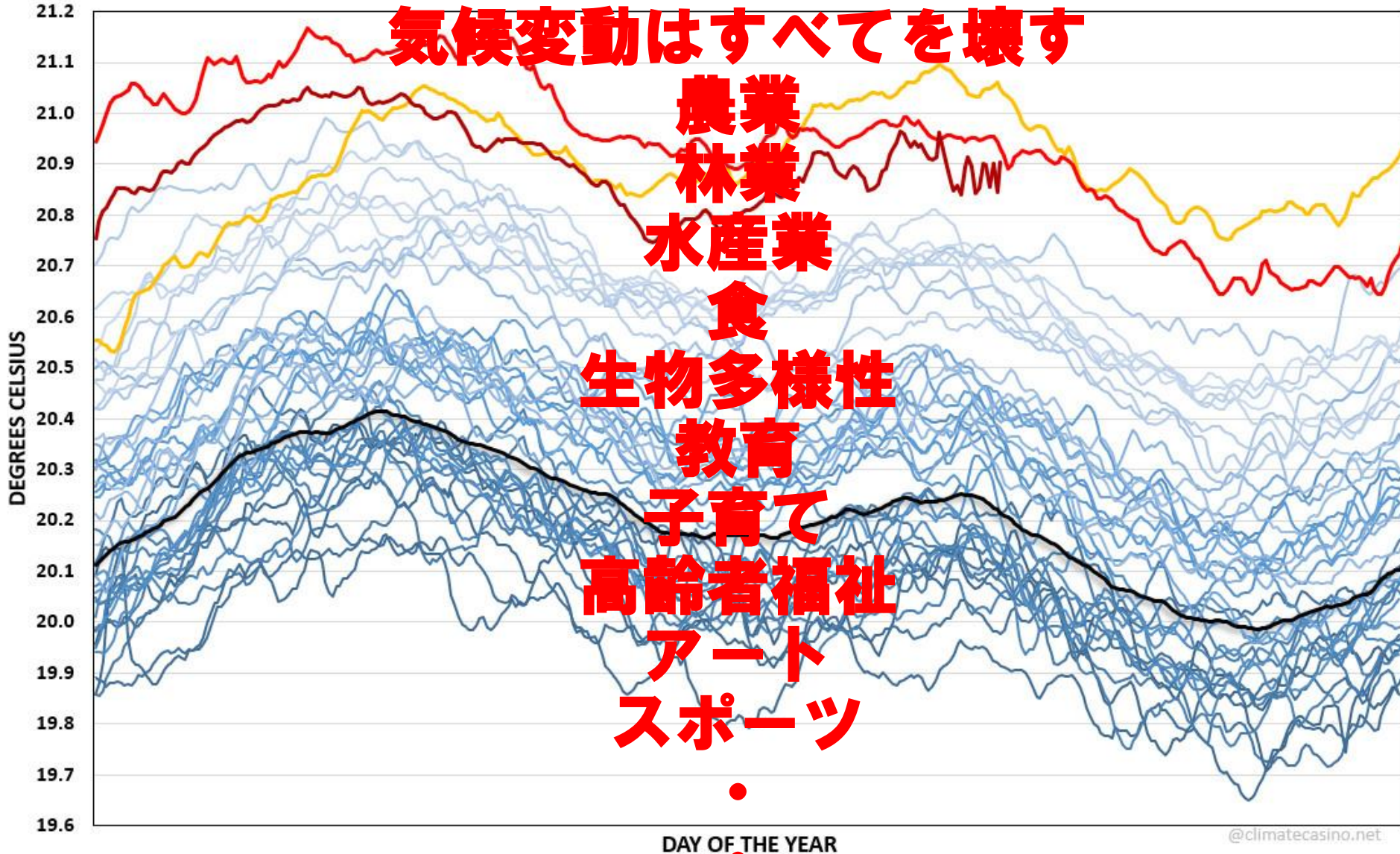


1982年～2025年の海水面温度の推移

Global Sea-Surface Temperatures (60°S-60°N): 1982-2025

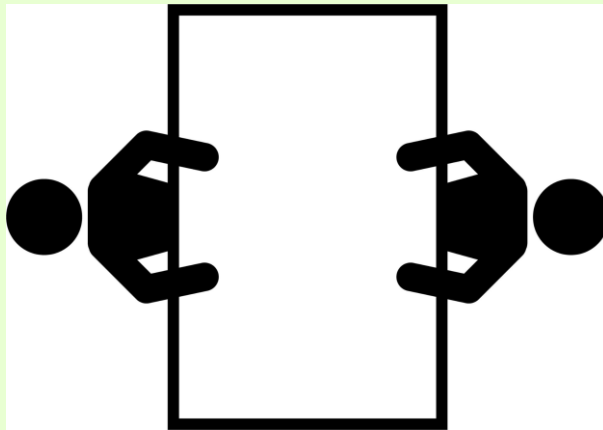
Data: https://climateresearcher.org/clim/sst_daily/json/oisst2.1_world2_sst_day.json

— 1982-2011 mean — 2023 — 2024 — 2025 through Sept. 11

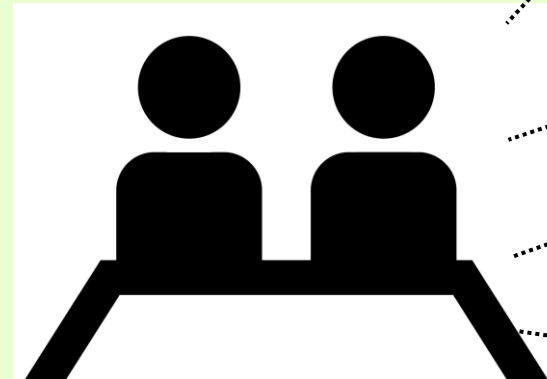


立場の垣根を超えて 一緒に変化を起こすには？

リバーズ会議では、



向かい合って
いきなり議論？



横に並んで
一緒に学び
対話する

データで
目線を
合わせる

外部講師
レクチャー

対話

共感

安心安全





立場が違っても議論できる関係性をつくる
リバーズ会議の2時間半





立場が違っても議論できる関係性をつくる
リバーズ会議の2時間半



いい講演会だったね、で終わらせない
リバーズ会議のつくり方
マニュアル作成中

気候変動 人口減少

タッグを組まないと
危機を乗り越えられない

**市民と行政は
立場・強味が違うから
タッグを組める**

市民にしかできない ミッション

その1つは
応援と共感で
行政の背中を押すこと